

共利群生のもりをめざして

2026
第29号
秋

撮影 垂井 俊憲

熊本県熊本地方を震源とする地震により被害を受けられた皆様に、心よりお見舞い申し上げます。

ごあいさつ
平素より、世界遺産高野山の森林環境の維持管理に格別のご理解とご支援を賜り、誠にありがとうございます。
令和8年度は無念院姿見の井戸近くの支障木伐採、大師教会境内にある木の伐採など、安心安全にご参拝頂ける様整備を進めています。
また、境内整備と参道整備や歴史的建造物の補修など業務を進めてまいりますので、今後も会報を通じて情報をお届けできれば幸いです。
皆様の皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

山林・管財課一同



令和16年(2034年)宗祖弘法大師御入定1200年御遠忌大法会奉修



共利群生のもりをめざして 2026 第29号

発行/金剛峯寺 山林・管財部 〒648-0211 和歌山県伊都郡高野町高野山132 TEL.0736-56-2016(直) FAX.0736-56-4640



献木一口 3,000円

令和7年4月1日より
一口3,000円に
変更しました。



男女兼用

高野霊木と五色の霊玉により、腕輪念珠を作製いたしました。

使用済念珠の取扱について

破損等で不要になった念珠は、奥之院燈籠堂にお納めさせて頂きますので、山林・管財課宛にご返送下さい。(送料実費)

高野霊木 五色腕輪念珠

1口 3,000円
の記念品
どちらかを
お選び下さい

高野霊木 スマホスタンド



軽くて持ち運びに便利です

スタンド
サイズ
縦:18.4cm
横: 8cm
厚さ:0.5cm

置いて
充電
できる!

ご好評につき
追加製作
致しました

令和9年版
予約受付中

10,000円の場合、いずれかをお選び下さい



高野霊木カレンダー短冊付
(数量限定)

※発送は11月頃を予定しております。
カレンダーの販売は代引きでのみ行っております。
全国一律5,000円(手数料・送料込み)



KUKAI(3冊セット)
(数量限定品)

金剛峯寺発行の冊子
4号、5号、6号のセットになります。



高野の森の香りハンドクリーム
(数量限定品)

高野山を代表する樹木であるコウヤマキを
メインに杉・ヒノキなどの高野山の森林の香りを
イメージしたハンドクリームです。

◆ 通信欄 ◆

皆様からの献木志納金は祖山緑化・環境維持管理のため、使わせていただいております。

献木の寄付は金剛峯寺ホームページからも可能ですので、是非ご覧ください。

この会報は、献木にご協力いただいた皆様に春と秋の年2回、それぞれ振替用紙を同封してお届けしております。会報の送付停止はメール又は、お電話にて賜ります。

ご注意ください

献木(ご浄財)3,000 円の記念品として授与される五色腕輪念珠が、フリマサイト等で高額に販売されている事例が確認されています。総本山金剛峯寺がネットサイトで数珠を販売することはありません。本来の趣旨をご理解のうえ、安易な購入や転売には十分ご注意ください。



このリーフレットは環境と資源を守る
植物油インキを使用しています。

献木受付は
こちらから



会報バック
ナンバーは
こちらから



『献木』お振込先

振替用紙をご送付致しますので、山林・管財部までご連絡下さい。
郵便振替口座：大阪 00930-6-61758
ゆうちょ銀行：〇九九支店 当0061758
加入者名：宗教法人 金剛峯寺 山林・管財部

お問い合わせ

〒648-0211 和歌山県伊都郡高野町高野山132 金剛峯寺 山林・管財部
TEL.0736-56-2016(直) FAX.0736-56-4640
E-mail sanrinkanzaika@koyasan.or.jp
※次号から会報の送付を停止する場合は、お手数ですがご一報下さい。



弘法大師
御入定
1200年
御遠忌

エスディージーズ SDGs × 山林・管財部のサステナビリティ

金剛峯寺は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。

～誰もが安心してお参りできる参道へ～

奥之院参道景観舗装が令和 8 年 3 月に完了いたしました。工事期間中は、皆様にご不便とご協力をいただき、誠にありがとうございました。第 1 工区として約 3 か月の工期を経て舗装工事（図 1 黄色区間）を、令和 9 年度に頌徳殿まで（図 1 の赤区間）完成予定です。参道がより歩きやすくなり、車いすをご利用の方やご高齢の方、小さなお子様連れの方にも、これまで以上に安心してお参りいただけます。今後も、安全で快適にご参拝いただけるよう、環境整備に努めておりますが、現在はまだ途中から砂利道となっておりますので本参道にてお参りください。本整備は、SDGs（持続可能な開発目標）の理念によってすべての方が利用しやすい環境づくりを目指す取り組みであります。



大門 金剛力士像

左右に安置される金剛力士像（阿形像と吽形像）は東大寺の南大門の金剛力士像に次ぐ日本で二番目に大きい像で、江戸時代中期の作品でその形相は見るものに祖山の威厳を感じさせる風格がにじみ出ています。

「阿」は息を吐く音、「吽」は息を吸う音とも解釈され、生命の根源である呼吸とも結びつけられます。この阿吽の概念は、仏教の真理や宇宙の摂理を表現する重要な要素となっています。

また標高約 900 m の大門からの眺めは絶景とされ、晴れた日は淡路島まで眺めることができるほどで、「日本夕陽 100 選」にも選ばれています。

千の昔、弘法大師も眺めていたであろう神秘的な夕日を眺めてみるというのはいかがでしょうか。



▲ 吽形像



▲ 阿形像



高野七弁天 その1 だけべんてんしゃ 嶽弁天社

弁天岳は古くは嶽山と呼ばれ、山上の嶽弁財天は高野七弁天社のうちでも最上流に位置する水源守護の要所として広く信仰を集めてきました。近年は「嶽弁」の名で親しまれる弁天岳（標高 984.5 ㍎）は、ちょっとしたハイキングを兼ねた参拝道として知られています。紀伊続風土記によれば、弘法大師が大和の天川弁財天に千日参籠したときに用いた宝珠を嶽山の頂上に埋め、弁財天を勧請したと記されています。さらに、山頂の一本杉に住む妙音房という天狗が常に小祠を守護している事も連綿と語り伝えられてきました。

※高野七弁天とは 高野山の水源に祭祀されている弁財天のうち、有名な嶽、祓川、湯屋谷、綱引、門出、尾先、丸山の七カ所をまとめた称号です。



▲ 嶽弁参道より大塔を拝む



▲ 嶽弁

参与会支援事業

近年山内において松くい虫による松枯れが進んでいます。

被害発生数の最も多い原因は「マツノザイセンチュウ」という体長 1 ミリメートルにも満たない線虫が松の樹体内に入ること引き起こされます。その線虫を松から松へ運ぶのが「マツノマダラカミキリ」というカミキリ虫です。

金剛峯寺では山内に約 90 本あるアカマツの巨木を保護のため定期的に薬剤の樹幹注入を実施していますがそれでも松枯れが発生してしまう現状となっています。

今年度は境内で 3 か所の松枯れがあり伐採を実施いたしました。山内の整備事業として毎年参与会のご支援をいただいております。

